

平成31年上尾市教育委員会1月定例会 会議録

- 1 日 時 平成31年1月24日(木曜日)
開会 午前9時30分
閉会 午前10時58分
- 2 場 所 上尾市役所 教育委員室
- 3 出席委員 教育長 池野和己
教育長職務代理者 細野宏道
委員 中野住衣
委員 大塚崇行
委員 小池智司
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉
学校教育部長 今泉達也
教育総務部 図書館長 関孝夫
教育総務部次長 西嶋秋人
学校教育部次長 石川孝之
学校教育部副参事 兼 学務課長 伊藤潔
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 瀧沢葉子
学校教育部副参事 兼 中学校給食共同調理場所長 松本宣孝
教育総務部 教育総務課長 森泉洋二
教育総務部 生涯学習課長 小宮山克巳
教育総務部 図書館次長 島田栄一
教育総務部 スポーツ振興課長 長谷川浩二
学校教育部 学校保健課長 荒井正美
書記 教育総務課主幹 中釜ひろみ
教育総務課副主幹 井上建一
教育総務課主査 周暁蘭
教育総務課主査 烏丸美鈴
- 5 傍聴人 0人

6 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 平成30年12月定例会会議録の承認

日程第3 会議録署名委員の指名

日程第4 協議

平成31年度上尾市教育行政重点施策の策定について

日程第5 報告事項

報告事項1 平成30年上尾市議会12月定例会について

報告事項2 平成30年度第1回定期監査結果について

報告事項3 平成31年成人式について

報告事項4 上尾市文化財保護審議会への諮問について

報告事項5 市制施行・体育協会創立60周年記念 第37回上尾市民駅伝競走大会の開催について

報告事項6 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱について

報告事項7 平成30年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式について

報告事項8 平成30年12月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について

報告事項9 上尾市立中学校に係る部活動の方針について

日程第6 今後の日程報告

日程第7 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) ただ今から、平成31年上尾市教育委員会1月定例会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 傍聴の申出はございません。

(池野和己 教育長) それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

日程第2 12月定例会会議録の承認について

(池野和己 教育長) 最初に「日程第2 12月定例会会議録の承認について」でございます。12月定例会の会議録につきましては、すでにお配りをし、確認していただいておりますが、何か修正等がございましたらお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) それでは、よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、小池委員にご署名をいただきまして、会議録といたします。

日程第3 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、細野委員をお願いいたします。

(細野宏道 教育長職務代理者) はい。

日程第4 協議

(池野和己 教育長) 「日程第4 協議」に入ります。協議事項といたしまして、「平成31年度上尾市教育行政重点施策の策定について」が提出されております。説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) それでは、「平成31年度上尾市教育行政重点施策の策定について」概要を森泉教育総務課長より、重点事項につきましては各所属長より説明申し上げます。

○協議 平成31年度上尾市教育行政重点施策の策定について

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、「協議事項 平成31年度上尾市教育行政重点施策の策定について」ご説明させていただきます。資料の右上に「協議」と記されている別冊の協議事項をお願いいたします。はじめに、重点施策の策定理由でございますが、「夢・感動教育 あげお」の実現に向けて、第2期上尾市教育振興基本計画の取組の実効性をより高めていくため、平成31年度上尾市教育

行政重点施策を定めるものでございます。次に、この上尾市教育行政重点施策の位置付けと全体構成等についてでございますが、現在、国では第3期の、県においては第2期の、教育振興基本計画のもと、各々の教育の目指すべき姿に向かって教育改革が進められているところでございます。上尾市教育委員会では、国や県の教育振興基本計画を参酌するとともに、第5次上尾市総合計画との整合も図りながら、第2期上尾市教育振興基本計画の中の基本理念である「夢・感動教育 あげお」の実現に向け、3つの基本方針と7つの基本目標を定め、この目標の実現に向けたさまざまな教育施策を展開しております。平成31年度の事業実施に当たっては、この教育振興基本計画の実効性を確保し、また、課題にも的確に対応していくため、別冊に示しました様々な重点施策を定め、関係部局や関係機関、団体等との連携を図り、本市の教育の充実・発展に努めていきます。続きまして、平成31年度上尾市教育行政重点施策の構成についてでございますが、こちらの資料、協議事項の1ページをご覧くださいと思います。施策の体系につきましては、先程ご説明差し上げましたように第2期上尾市教育振興基本計画との整合を図る必要があることから、基本計画が定める7つの基本目標とそれぞれの施策に沿った形で表していくものとしております。2ページをご覧くださいと思います。それぞれの構成でございますが、上段には、各基本目標に関して、教育を取り巻く状況変化や社会的背景、そして様々な課題解決に向けた重点的な取組内容を説明しております。そして、最下段の四角の枠がございます。こちら、二重の枠になってございますが、こちらは、各基本目標を達成していくための施策と重点的な取組、主要事業を表しております。この主要事業は、どれもが大切な事業であります。この中でも特に教育委員会として重点を置く事業につきましては、前のところに星印を付け、また、中段のところの括弧書き部分の平成31年度重点事業という項目部分に、星のマークが付いている重点事業を特出しして、目指すべき方向性を明確化するとともに、本市の教育に関わる各職員が、しっかりとした認識を持ち事業に取り組んでいくことができるような構成立てをしております。なお、今回、取組内容、そして記載、表現等の在り方についても、教育委員さん方にご審議をいただき、ご意見をいただいた上で、事務局で再度内容の調整を図りまして、次回の2月定例会に議案として提案させていただく予定でございます。よろしく願いいたします。以上が重点施策の概要説明となりますが、先程もご説明にありましたとおり、各所管課に係る重点事業につきましては、それぞれの担当課長からご説明させていただきます。以上です。

（瀧沢葉子 指導課長）指導課・教育センターに係る主な事業について申し上げます。2ページ、基本目標Ⅰの施策1の「魅力ある学校づくり事業」では、新学習指導要領で示された、外国語活動、道徳科、プログラミング教育などの課題にも対応した研究委嘱を行ってまいります。3ページ、施策2の「ALT活用事業」においては、小学校のALTを7名増やしていただき、25名となりましたことから、現在の3・4年生で週1時間、5・6年生で週2時間の外国語活動に加えて、1・2年生で年間10時間の外国語活動の授業を実施するほか、ALTが外国語活動以外の授業に入って支援する「アシスト授業」を実施したり、クラブ活動や委員会活動とともに活動したりするなど、活用してまいります。また、日常的に児童がALTと英語で会話をする「イングリッシュ・トーク」の場を定期的に設けるなど、日常的に英語に慣れ親しむ環境を通して「臆せず英語を話す上尾の子」を目指して各学校で活用を図るとともに、イングリッシュキャンプなどの事業を展開してまいります。4ページの基本目標Ⅱの「施策2・3・4」の「いじめ根絶対策事業」では、「ハイパーQ.U」での実態把握や「なかよく楽しい学校生活を送るための標語」ポスター作成などいじめの未然防止の取組を行い、「いじめを見逃さずに適切に対応できる学校」の支援に努めてまいります。また、施策2「さわやか相談室運営事業」では、中学校の「さわやか相談員相談室」の運営はもとより、定期的な「小学校さわやか相談室」の周知も進んでおり、充実してきておりますので、引き続き、小・中学校が、また、

関係機関が連携して「相談体制の充実」を図れるように取り組んでまいります。8ページ、基本目標Ⅳの施策1「コミュニティ・スクール推進事業」では、来年度から市内小・中学校33校全校が、コミュニティ・スクールとなりますことから、検討委員会で実施状況を確認しながら、適切な運営に資するよう、研修会を実施するなどの事業を展開してまいります。以上でございます。

(荒井正美 学校保健課長) 学校保健課から申し上げます。はじめに5ページをお願いいたします。基本目標のⅡ、「施策6 学校保健の充実」でございます。「保健教育の推進」や、食物アレルギーの児童生徒への対応をはじめとした「保健管理の推進」及び「学校保健組織活動の推進」を図ってまいります。重点事業の「学校健康診断及び健康管理事業」では、内科・歯科検診などを実施し、検診後の措置につなげ、一層の健康保持増進に努めてまいります。また、食物アレルギー疾患をもつ児童生徒については、今年度末策定予定の「上尾市学校給食食物アレルギー対応方針」に基づき、各家庭とも連携しながら、統一的な取組を図ってまいります。続きまして、「施策7 食育の推進・学校給食の充実」では、農作物の栽培体験、親子料理教室、地域の皆様や高齢者を招いた招待給食などを実施し、「食に関する指導」や、「学校給食」の更なる充実を進めてまいります。次に、7ページ、基本目標のⅢ「施策5 学校安全の推進」でございます。児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう、防災・防犯教育や自転車事故を防ぐための交通安全教育を実施します。特に、災害や事件が多発している社会情勢の中で、児童生徒が自ら危険を予測し、回避できる能力の育成を目指してまいります。重点事業の「児童生徒安全推進事業」では、各小・中学校において全職員を対象とした「心肺蘇生法研修」及び「応急手当普及員資格取得講習会」を開催し、有資格教職員の充実を図ってまいります。また、通学路安全対策事業では、市PTA連合会からの要望を受け、緊急的に整備が必要と思われる箇所について、通学路の改善工事を実施いたします。学校保健課につきましては、以上でございます。

(松本宣孝 中学校給食共同調理場所長) 中学校給食共同調理場から申し上げます。5ページをお願いいたします。基本目標Ⅱ、「施策7 食育の推進・学校給食の充実」でございます。中学校給食について、成長期である生徒にとって安心・安全で魅力ある献立となるようその充実に努めてまいります。また、老朽化した調理備品等の整備・更新を図ってまいります。中学校給食共同調理場からの説明は以上でございます。

(伊藤潔 学務課長) 学務課関係について申し上げます。2、3ページをご覧ください。基本目標Ⅰの施策1・4・5に関連し、さわやかスクールサポート事業及び特別支援学級補助員派遣事業により、通常学級にアップスマイルサポーター、特別支援学級に特別学級補助員、中学校にアップスマイル教員を配置し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導・支援を充実させます。施策2では、日本語指導職員派遣事業により、日本語の理解が不足している児童生徒の援助及び指導を行ってまいります。続きまして、5ページから7ページをご覧ください。基本目標Ⅲでは、施策1及び2にありますように、人事評価制度や学校評価を活用し、教職員の資質能力の向上と学校経営の改善充実を図り、質の高い学校教育の推進に取り組んでまいります。また、施策6にありますように、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校生活に必要な費用の援助を行い、児童生徒が安心して学校に通えるように支援してまいります。学務課関係は、以上でございます。

(森泉洋二 教育総務課長) 教育総務課です。5ページ「基本目標Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進」でございます。こちら、施策3、4について説明させていただきます。7ページをお願いい

たします。「施策3 学校環境の整備・充実」の中では、「①施設老朽化対策の推進」として、「上尾市学校施設更新計画策定基本方針及び上尾市学校施設更新計画」策定を進めてまいります。現在、学校施設の老朽化が進んでおり、将来的な少子化の進行、厳しい財政状況を背景に、平成27年度に策定された「上尾市公共施設等総合管理計画」の方針に則り、安全で適切な施設環境の整備と更新コストの縮減を目指す学校施設の更新計画の基本方針と基本計画を策定してまいります。本事業を重点事業としておりますが、申し訳ございません。資料に記載が入っておりません。6ページの下段で〔平成31年度 重点事業〕と、7ページの「施策3 学校環境の整備・充実」の四角枠の■重点事業の中に★を付けました重点施策といたしまして「★学校施設更新計画策定事業」を追加させていただきたいと思っております。また、施策3の「②学校図書館図書・教材の整備充実」でございますが、小・中学校の学校図書整備に積極的に取り組んでまいります。小中学校の学校図書館の図書充足率100パーセントを目指しまして、書架の増設や学校図書の適切な廃棄・更新、充実を図り、指導課とも連携をとりながら児童生徒の読書活動の推進や学校図書館の教育効果の向上に努めてまいります。次に、「施策4 ICT教育の推進」でございます。こちらの施策では、平成30年度の中学校でのタブレット型コンピュータの導入並びに普通教室・特別教室・体育館への無線LAN整備に続きまして、平成31年度は小学校において、タブレット型コンピュータの入替え並びに普通教室・特別教室・体育館への無線LAN整備を進め、安心・安全で質の高い学校教育の環境整備を進めてまいります。教育総務課につきましては、以上でございます。

（小宮山克巳 生涯学習課長）生涯学習課です。8ページ目以降をご覧ください。「基本目標Ⅳ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」でございます。施策1の学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進ですが、上尾市PTA連合会への支援を行い、PTA活動の活性化を推進してまいります。また、ボーイスカウト・ガールスカウト等の社会教育団体への支援を引き続き進めてまいります。施策2の家庭教育の充実では、家庭教育に関する講座で、たとえば、小1スタート家庭教育講演会等、内容を工夫した講演会を開催し、小学校入学時の保護者の育児不安の解消を目指します。また、家庭教育に関する講座を行う市内幼稚園の保護者会への支援など、家庭教育に関する学習機会の提供を重点施策として進めてまいります。次の「基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート」です。第4次上尾市生涯学習振興基本計画に基づき、「生涯を通して豊かな学びをサポート」を基本理念に、体系的に事業を進めてまいります。9ページにございます1から4の施策に基づいて事業を進めてまいります。施策1では、生涯学習に関するさまざまな情報を発信して行っていくものでございます。施策2の生涯学習機会の提供では、公民館事業を軸に、学習のきっかけづくりと学習機会の提供を、対象者や学習目的で分類し、学習機会の幅を広げ、充実を図ってまいります。また、現在実施しております、土曜日や長期休業中の公民館子供教室を拡充し、平日の放課後に子供教室を開催します。連携・共同の学びとして、周辺自治体や大学と連携して実施する「子ども大学あげお・いな・おけがわ」や、民間企業と連携した講座事業などを引き続き実施してまいります。施策3では、学んだ成果を生かせる機会として、指導者の登録と情報を提供する「まなびすと指導者バンク推進事業」を行います。また、生涯学習グループ間の交流の場として公民館祭りを開催します。施策4では人権教育集会所を会場に、学習機会の提供や地域との交流を図ってまいります。10ページ目をご覧ください。「基本目標Ⅵ 文化芸術の創造と文化財の保護」の施策1では、上尾市美術展覧会事業や上尾市民音楽祭を実施してまいります。施策2では、文化財の調査や歴史資料の収集を継続するほか、文化財の啓発事業を重点事業として取り組んでまいります。特に国登録有形民俗文化財に登録された上尾の摘田・畑作用具に関し、その資料的価値を高めるための整理作業と、その詳細な記録をまとめた調査報告書を作成いたします。生涯学習課からの説明は以上です。

(島田栄一 図書館次長) 図書館でございます。恐れ入りますが、8から10ページをお願いします。
「基本目標Ⅴ 生涯にわたる豊かな学びのサポート」の中の施策5、10ページになりますが、図書館運営の充実でございます。図書館資料の整備・充実、図書館サービスの充実、子どもの読書活動の推進、図書館施設の整備・充実などを進めてまいります。図書館は、多様化・専門化する市民ニーズに応じて、広い視野で様々な資料・情報の収集・提供に努めるだけでなく、課題解決に導くためのレファレンス、学習環境の整備や滞在空間の提供など多様な要求に応えることが求められております。特に、図書館資料整備事業でございますが、引き続き、幅広く図書資料等の充実に努めてまいります。子どもの読書支援活動センター運営事業でございますが、家庭・地域・学校と図書館との連携を進めながら、子供たちの読書活動の推進を引き続き行ってまいります。さらに、今回、新規事業で入りますが、図書館分館改修事業といたしまして、分館で憩えるスペースの確保など、多様な過ごし方ができるよう整備を検討してまいりたいと考えております。図書館につきましては、以上でございます。

(長谷川浩二 スポーツ振興課長) スポーツ振興課でございます。11ページをお願いいたします。
「基本目標Ⅶ 健康で活力に満ちた生涯スポーツ活動の推進」についてでございます。上尾市におきましては、平成25年に策定いたしました「スポーツ推進計画」に基づきまして、市民が自身の健康と体力向上を目指すために、活動の機会や場の提供を行います。そのために、施策1から施策4までを平成31年度重点事業として取り組みます。その中で、施策1の「スポーツ・レクリエーション事業の充実」につきましては、スポーツ大会開催といたしまして、上尾市民体育祭・上尾シティマラソン・市民駅伝競走大会などがありますが、上尾シティマラソンにつきましては、平成30年度の第31回大会では、30回の大会に続きまして大会新記録が更新されました。今後も参加者のレベルアップ等が見込まれますし、上尾市のスポーツの一大イベントとして実施してまいります。市民駅伝競走大会につきましては、会場の変更も含めまして検討し実施してまいりたいと考えております。また、平成32年度、2020年に上尾市の県立武道館におきまして開催されます、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の準備を行います。さらに、同年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますので、これに伴う関連事業を市長部局と連携しながら準備を行ってまいります。施策2「スポーツ施設の整備・充実」につきましては、市民の皆様が安全にスポーツ施設を利用できるよう、引き続きスポーツ施設の修繕、整備を行ってまいります。市民体育館におきましては、平成29年度をもって指定管理者の指定期間が満了いたしました。平成30年度から5年間、引き続き指定管理者制度を活用いたしまして管理運営を行います。また、平塚サッカー場改修事業におきましては、人工芝化と夜間照明施設を整備いたしまして雨天時や夜間の利用など、より多くの市民の方に利用していただけますよう整備してまいります。施策3「スポーツ指導者の育成」につきましては、スポーツ基本法に基づき委嘱するスポーツ推進委員の任期が30年度をもって満了いたしますので、31年度から新たに任命いたしまして、引き続きスポーツ・レクリエーションの普及、振興を図ってまいります。スポーツ振興課については、以上となります。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただ今、「平成30年度上尾市教育行政重点施策の策定について」説明をいただきました。ご意見等ございましたら、お伺いしたいと思います。

(大塚崇行 委員) コミュニティ・スクールについてお伺いします。先行実施している上尾小、東町小、上尾中ということになりますが、スケジュールが、1年間やった中で、いろいろ、うまくいっている点、問題点があると思うのですが、そういうことを伺う機会というか、発表するような機会というの

はあるのでしょうか。お伺いします。

(瀧沢葉子 指導課長) 2月に、成果発表会と申しますか、次期の委員さんに向けて、また、地域の方も参加可能という形で発表を行います。その中で、先行実施校3校の成果を発表するとともに、委員さんによるパネルディスカッションを通して、その意義や課題を考える機会を設けております。

(大塚崇行 委員) その対象者というのは、どのようになっているのでしょうか。

(池野和己 教育長) 場所と対象者をお願いします。

(瀧沢葉子 指導課長) 場所は、上尾市文化センターになります。対象は、次の委員になられる方、それから、関心のある方、地域の方、また、学校の関係教職員も参加ができる形で行います。

(大塚崇行 委員) わかりました。

(池野和己 教育長) 他にございましたらお願いいたします。

(大塚崇行 委員) 今度、インターハイ、オリンピックに向けてということで関係を持たれるということなのですが、インターハイは武道館を使うということで、今、お話をいただきましたのでわかりましたが、オリンピック・パラリンピックに関して、上尾市との関連というか、どういった関りを持つのか、何かあれば教えていただきたいと思っております。

(長谷川浩二 スポーツ振興課長) オリンピック関連事業につきましては、大きく言いますと、3つございまして、事前のトレーニングキャンプ、聖火リレー、ホストタウンというのがありますが、事前キャンプにつきましては、もうすでに、埼玉県と上尾市と伊奈町でオーストラリアのナショナルチームと覚書を結んでおります。このままいくと、2020年の、おそらく7月くらいになると思うのですが、事前キャンプということで、今のところは、伊奈町の県活に宿泊して、練習場として県立武道館を使うという予定であります。聖火リレーにつきましては、今要望がありますので、それを埼玉県に提出いたしまして、上尾市を通るように要望しておりますが、これが発表されるのは、おそらく、夏以降になると思っております。ホストタウンにつきましては、これにつきましても、事前キャンプの関係もありますので、埼玉県と上尾市と伊奈町でオーストラリアとホストタウンを結ぶということで、申請等の準備をしております。

(大塚崇行 委員) はい。わかりました。

(池野和己 教育長) 他にご意見、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

(中野住衣 委員) 2ページの内容です。2点あります。まず1点目ですが、5行目の「学校段階間の接続の充実について」のところの文章ですけれど、「幼・保・小・中の連携を強化し、一貫した教育の推進を図ります」ということなのですが、上尾市はこの「幼・保・小・中の接続・連携」ということについては、かなり先進的に研究を進めてきて、十分成果を挙げてきているものと私は考えています。そうした中に、このような記述があるのですが、今後さらに連携を強化するということは、どん

なイメージなのか、今後の課題をどう捉えて連携・接続を強化していくのかというところを教えてください。それから、2点目です。特別支援教育についての記述がありまして、「小学校特別支援学級に特別支援学級補助員を、通常の学級にアップスマイルサポーターをそれぞれ配置する」というところですが、それぞれの児童生徒の一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導・支援ということは大切だと思うのですが、この配置する人たちが「指導・支援を行う」という文言は、私はふさわしくはないのではないかと思います。やはり、担任、教員の指導のもとに補助的に支援に当たるのが補助員さんであり、サポーターさんであるのかと、その連携が大事だと思いますので、「指導・支援」というのは考えていただきたいと思いました。以上です。

（瀧沢葉子 指導課長） 連携につきましては、ご指摘いただいたとおりいろいろな取組がなされております。たとえば、平成30年度では、幼・保・小の連携を滑らかにするというところで、スタートアップカリキュラムというものを各学校で最初の2週間の教育内容を一般にホームページ等ですべて公開するということや、幼稚園見学などの研修なども行って、教育内容を公開していきながら、滑らかな接続をしていくというようなことも行っております。また、小・中の中では9年間を見通した学力向上策ということで、最終年度は算数において課題解決ということで、小・中連携した研修会を行い、小・中を見通した学力向上の対策を行うというような中で、教育課程を一貫してみていくということも行っております。これから入ってきます外国語活動につきましても、先日の小・中の合同の研修会を開催したところであります。そのようにして、教育課程の内容についても、一貫して研究を図っていく、強化していくことが重要であると考えております。

（中野住衣 委員） そうすると、教育課程の接続ということになるのでしょうか。理解しました。ありがとうございました。

（池野和己 教育長） 2点目については、もう一度検討させていただきます。それ以外にありましたら、お願いします。

（細野宏道 教育長職務代理者） いくつかありますが、1点ずつ質問させていただきます。まず、基本目標Ⅰの施策1のところ、今年度、研究発表を変えていただきました。私はたいへんよい方向に変えていただいたと感謝をしています。ただし、成果の電子化ですとか、共有フォルダの活用がまだ、なかなかなされていないと思っています。そのへんは、どうお考えになっているかお聞かせください。

（瀧沢葉子 指導課長） 形式につきましては、たいへん学校独自の工夫が見られたと考えております。この後、研究成果の電子化ということで、共有化につきましては、整えて充実できるように努力してまいりたいと思います。

（細野宏道 教育長職務代理者） よろしく申し上げます。働き方改革につながってきますが、あれだけよい研究発表がされていますから、各先生がそれを使えるように新しい視点を教育委員会の方で作っていただければよいと思います。よろしく申し上げます。続きまして、基本目標Ⅱの施策2のところですが、いじめ対策に関しましては、ネットパトロールとかCAP研修とか、ハイパーQUとか、いろいろなものがやられていて、成果も上がってきていると思いますが、施策2の総合的な不登校対策の推進ということで、不登校の子が増えているというのは、まぎれもない事実で、一言でいろいろな不登校というのは、要因があって個々でケースバイケースですよと言ってしまえば、それで終わって

しまうのですが、その総合的な不登校対策の推進というふうを書くということは、何かそれにブレークダウンしたものを持たれているのかなど。もちろん、SSWとか、教育センターとか、そういうふうにならなくなった後の対策のほかに、教育長にお話を伺ったのですが、不登校になる前の対策はいろいろな対策が絡んでくるのだと思うのですが、ここに「総合的な」というふうに書かれたということは、これは、何を示しているのですか。たとえば、どういうことが考えられているのですかということをお聞かせいただけたらと思います。以上です。

（瀧沢葉子 指導課長） 総合的な、ある程度の大きなグランドデザインみたいなようなものも、これから検討していく必要があるかと思いますが、実は、教育相談員などは各学校の教育相談担当などを対象にした研修会の中では、このような未然防止、起こったときの対応というものをまとめた資料を作成いたしまして、それを研修で使うというようなことをいたしました。そういうところで、学校から、まず、未然防止から対応までというような研修を実施したということもあります。また、おっしゃるとおり、さわやか相談室に通っていたり、適用指導教室に来たり、いろいろな場でその対応を行っておりますので、その連携については、教育センターが有機的に働くように関連付けを行っているとこころではございます。

（細野宏道 教育長職務代理者） ありがとうございます。実は、さわやか相談室を小学校に拡充していただいたり、SSWの増員をしていただいたりということで、細かく対応をしていただいているのは理解をしています。ただ、教育委員会として、不登校というものに対して、一つ一つ細かく考えていくというポジションを持っていないといけないと思います。ぜひ、そのポジションを持っていただきたいと思います。あえて質問をさせていただきました。よろしく願いいたします。

（池野和己 教育長） いじめの問題というのは、自死行為に及んだり、たいへんマスコミでも多く取り上げられたりするものですから、私も、かなりこちらに重点を置いて校長先生方をお願いしたりしています。ただ、不登校対策の方は、いじめの問題と違い、非常にわかりにくいのは、年度の終わりにならないと正確な統計の数が出てこないというところがあると思います。いじめの問題は月々に出てきた事案としてすぐ教育委員会が把握できるのですが、不登校対策の方は年度の終わりまでいって、各学校でどのくらい努力していただいて、連携をとっていただいて学校に戻しているか。それで、数の把握が難しいので、この2年間、いろいろ細かいものを進めています。検証するにはしばらくかかると私は思っています。地道なことです。必ず成果は何らかの形で出てくると私は信じているのですが、今、小学校でも中学校での不登校をなくすために、協力していただく。そのための基礎資料を中学校に上げ始めて、まだ、2年、3年というところですので、ただ、確実に、中学校で今まで以上に、ただ6年生が上がってきたのではなくて、小学校の時の状況を中学校が把握して努めていますので、もう少しかかるかと思っています。未然に防止するというのが不登校対策で一番大事なことです。そこについても、もう少しいじめと同じような形で不登校に対する全体像がわかって、不登校について上尾市はどうしていくのかという対策を作らないといけないかと、最近私は思っています。非常に大きな問題なのに、いじめと違って、そのまま、学校へほとんど登校しないまま、教育的配慮で卒業していくという、わが国全体の問題です。しかし、ここにきて初めて、それに対する新たなものが出てきていますので、それも含めて、この不登校対策について、もう1回、きちっとした総合計画を考えていかなければいけないかと思いました。ありがとうございます。そのへんのご意見もいただいて検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(細野宏道 教育長職務代理者) 基本目標のⅢのところになります、2点ほどあります。6ページの中段に「児童生徒を対象とした心肺蘇生法講習会」とありますけれど、この文で気になっているのは、先日、大石小学校で起こった事案で、私がいへんショックを受けたのは、子どもたちがいへんショックを受けたという一文がありました。ですから、やはり先生方が蘇生をするということに対処をするということがもちろん重要なのですが、子どもたちにとっては、万が一そうなったときの心のケアを十分していただくよう、心肺蘇生法という方法だけではなくて、そこを含めてぜひお願いしたいと思います。これは意見としてお願いしたいと思います。それから、質問としてですが、施策の3です。以前から、私は学校のICTの中で無線LANの導入というのをぜひ検討していただければということで、それが、今回、していただくということでありがとうございます。ただ、無線LANをどういうふうにするのか、そういう勉強会というのはいられるのか、もちろん、まだ導入されていないのでわからないのですが、E d T e c h等々、サポート等はどうなっているのか、お聞かせいただければと思います。以上です。

(森泉洋二 教育総務課長) ICTの導入に関しましては、無線LANの導入を今年度中学校で、来年度小学校で予定しております。その中で、導入後の利用の仕方ということですが、授業で、今はパソコン自体がパソコン教室のみで使用可能となっておりますが、そのパソコンを教室に持ち出して、また、体育館等に持ち出して授業で使える形を考えております。また、授業の内容につきましては、指導課になりますが、実際に授業等を考えながら、構築していくことになると思います。このICT機器の使い方等の内容に関しましては、専門の方を各学校に配置をしてということもできることになっておりますが、上尾市では、まだ、そこまで、専門の方を呼んで対応というところまでは至っておりません。その前の段階でICT機器の使い方に関しまして各学校の先生方に講習等を行いながら使っていく。また、将来的に環境が整いましたら、専門の方をお願いして各先生方に講習等ができるように、そういうことも考えていきたいと思っております。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にはいかがでしょうか。

(細野宏道 教育長職務代理者) もう1点だけお願いします。基本目標Ⅴの図書館のところになります。先ほど、次長から多様な要求があるという発言がございました。実は、ここに第2次図書館サービス計画があるのですが、今回読み直してみたのですが、今、上尾市の図書館問題がいろいろありますけれども、その中で私が思っているのは、多様な要求があるというのは当然だと思いますが、限られた予算等々の中で、上尾市の図書館で最も重要なのは、本館があって分館がこれだけあるのですが、本館、分館の役割は何なのかというふうに思いました。それで、このサービス計画を読み直してみましたが、明確な答がわかりませんでした。それによって、分館を今回改修事業というのを重点施策でやるのですが、何のために分館を改修するのですか、どんな分館にしたいのですか。どんな本館にしたから、どんな分館にするのだ。すなわち、上尾市の図書館行政は、こうだからという明確なものがサービス計画等々にないと。ただ、スペースを拡大しました、古くなった建物を建て替えましたということになると、その場限りの改修になってしまうと、上尾市の税金を使うということがいへんもったいないというか、ですから、ちゃんと図書館運営の充実ということであれば、これが32年までの計画ですので、もうすぐに次年度、33年度からのものができてきますので、それを作らなければならない。一方、上尾市の図書館が今ああいう状況になっているということで、ちょうど、よい機会

かと思しますので、ぜひ、これは31年度の重点施策という点ももちろんなのですが、そのところと
いうのをぜひ、私ははっきりしたものを聞かせていただきたいと思って、質問をさせていただきました。
以上です。

(島田栄一 図書館次長) 本館と分館の違いと役割ということでご質問いただいたのですが、上尾市に
は、本館と8分館あります。分館につきましては、他市に誇るほど数の分館を持ってしまして、自負
できる状況でございます。各地域を結ぶネットワークの一部を担っているところございまして、特
に本館の役割、分館の役割というものは、今申し上げた本館を中心として上尾市内の図書館をネット
ワークでつなぐ役割で、各分館についてはネットワークの一部であり、かつ、地域の分館として地域
の図書館として役割を担っていくというものかと考えております。今後、役割としましては、地域の
特徴、特色、特性を踏まえつつ、分館毎の差別化を図りながら、図書館本館と分館との位置付けを考
えていく必要があると考えております。それで、上尾市図書館サービス計画が32年度で終わるので
すが、本館と分館の在り方をこの機会にもう一度考え直させていただいた上で、上尾市の図書館運営
を考えていきたいと考えております。それから、図書資料の特色も当然ございますし、地域で使う図
書館の来館者の地域性というものも当然ございます。今回は、その地域性を考慮しながら、来館者の
特性が、滞在型である分館を想定し、それに向けた施設の整備を行っていくというのも、特色のある
分館サービスと考えています。そのようなことで、今回新たな事業を展開していこうと考えていると
ころでございます。以上です。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。今、上尾市の図書館というのは、県の図書
館とか、いろいろなものとネットワークが構築をされつつあります。たとえば、国会図書館のものの
資料を取り寄せるということも県とかで可能でしょうし、そういうことが可能になってきますと、今、
暮らしに役立って「本に会う喜び」という文言があるのですけれど、たとえば、分館でどのくらい
の本を増冊して置いておく必要があるのかというのも、分館、分館によって違ってくるのだと思っ
ています。そうすると、そういうことでこの分館にはこういうことをやろう、すなわち、図書の充実を
しようという必要性よりも、その他のものを充実させることの方が何々分館としては使われる可能性、
稼働率等々が上がって、より費用対効果の面で充実させるということも出てくると思いますので、お
そらく、それが分館の役割だと思っているのですが、本館は本館として、実際に「本に会う喜び」
等々について必要になってくるとか、ネットワークが完全に構築をされていくとかと思いますので、
そのへんをぜひ、ご検討をしていただければ助かります。以上です。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。他にございますか。

(池野和己 教育長) 他には、よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) それでは、先程話がありましたけれど、1月31日の木曜日までに、事務局まで、
本日いただきましたご発言以外にご意見等ございましたら、ご連絡をいただきたいと思いますが、ど
ういう形になりますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 本日この場で出されませんでした。お持ち帰りいただきまして、改善点

等ございましたら、メールでも結構ですし、郵送でもFAXでもかまいませんので、教育総務課宛にお送りいただければと思います。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。ありがとうございました。たくさんのご意見をいただきましたが、さらにお気付きの点がございましたら、1月31日の木曜日までに、ご連絡をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。なお、いただきましたご意見を踏まえた上で、2月の定例会に議案として提出をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。日程第4の協議につきましては、これで終了させていただきます。

日程第5 報告事項

(池野和己 教育長) 続いて「日程第5 報告事項」でございます。本日は、9件の報告事項が予定されていますので、よろしくお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 別冊の平成31年上尾市教育委員会1月定例会報告事項と平成30年上尾市議会12月定例会市政に対する一般質問答弁要旨のご用意をお願いいたします。まず、報告事項になります1枚おめくりください。左側の報告名になりますが、「報告事項1 平成30年上尾市議会12月定例会について」は、全体概要を西嶋教育総務部次長より、一般質問の内容につきましては両部の部長より説明いたします。次に、「報告事項2 平成30年度第1回定期監査結果について」は西嶋教育総務部次長より説明いたします。次に、「報告事項3 平成31年成人式について」及び「報告事項4 上尾市文化財保護審議会への諮問について」は小宮山生涯学習課長より、「報告事項5 市制施行・体育協創立60周年記念 第37回上尾市民駅伝競走大会の開催について」は長谷川スポーツ振興課長より説明いたします。

○報告事項1 平成30年上尾市議会12月定例会について

(西嶋秋人 教育総務部次長) 恐れ入ります。報告事項の1ページをお願いいたします。「報告事項1 平成30年上尾市議会12月定例会について」ご報告いたします。会期は、平成30年12月3日から平成30年12月22日までの20日間ございました。市長提出議案のうち教育関連議案について報告いたします。議案第78号「平成30年度上尾市一般会計補正予算(第3号)」につきましては、賛成多数で原案可決されております。内容につきましては、11月定例会で、ご説明申し上げましたとおり、教育関係歳出予算、繰越明許費、債務負担行為の補正でございまして、ここにあります表のとおりでございます。私からは以上でございますが、市政に対する一般質問の内容につきましては、両部長から説明をいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 別冊の「平成30年上尾市議会12月定例会 市政に対する一般質問 答弁要旨」をご用意ください。教育総務部関連では、7人から質問がありました。2ページをお願いいたします。前島るり議員から、「避難所のあり方と学校体育館へのエアコン設置について」の中で、「最終的に避難所となる学校体育館は、非常に重要であり、教育環境の向上に向けても、体育館へのエアコン整備を早急に進めるべきと考えるがいかがか。」との質問がありました。安心・安全な教育環境を整えることは、大変重要なことであり、学校体育館へのエアコン設置は、学校施設整備全体の中で検討していくと答弁をいたしました。次に、4ページをお願いいたします。長沢純議員から、「希望あふれるVRの活用について」の中で、市内の小・中学校ICT環境整備状況と今後の計画について質問がありました。ICT環境の主要な項目である大型モニタや電子黒板などの大型提示装置は、全

小・中学校でほぼ100パーセントの整備状況であること、今後の計画として、無線LANは、平成30年度中に全中学校の普通教室・特別教室・体育館へ整備予定であり、小学校も、平成31年度中に、同様に整備する予定であることなどを答弁しました。5ページをお願いいたします。秋山もえ議員から、「スポーツ都市宣言にふさわしい環境整備を」の中で、各スポーツに十分に対応できるような環境は整備されているのかとの質問がありました。●の4つ目になります。各スポーツ施設については、大変多くの市民のご利用を頂いており、そのため、公共スポーツ利用調整会議において、利用団体間での調整等によって対応していること。今後も、現在の施設を市民の方々に有効に利用できるように努めていくことなどを答弁しました。次に、6ページ中段をお願いします。平田通子議員から「瓦葺・原市における諸問題」の中で、「生涯学習施設としての課題」についての質問がありました。●の2つ目になりますが、瓦葺分館における蔵書の充実、開館時間の延長などにより、利便性の向上を図ってもらいたいとどう考えているのかとの質問に対し、図書館は、本来の役割のほか、滞在性のある、居心地の良い空間づくりなどが求められており、市民ニーズは多様化していること。様々なニーズの優先順位を考慮しながら、本館・分館等の在り方を考えていく中で、これらの課題解決に向け、引き続き、検討していくと答弁しました。次に、一番下の●になりますが、原市公民館へは行けない市民に、どのように生涯学習の機会を提供しているのかとの質問に対し、市の職員が地域に出向く市政出前講座や、まなびすと指導者バンクに登録されている指導者の紹介など、各地区の要望に応じ、身近な生涯学習の機会を提供しており、引き続き、地区の皆様のニーズを把握しつつ生涯学習の推進に取り組んでいくと答弁しました。7ページをお願いします。井上茂議員から「消費税増税の市政への影響について」の中の「幼児教育無償化」の中で、平方幼稚園への影響について質問があり、幼児教育の無償化により、市の歳入である幼稚園保育料が無くなること、保護者によっては民間幼稚園を選択することも考えられると答弁しました。10ページの一番上の●ですが、池田達生議員から、「文化・社会教育施設の現状と今後の予定」の中で、上尾市の公民館は人口約3万人に1館というデータだが、公民館数が少ないという現状をどう考えているか。公民館数を増やす計画やそれに代わる計画はあるのかとの質問がありました。公民館は昭和57年に策定された上尾市総合計画のなかで、旧6か町村に各1館公民館を設置することを目指し、地域公民館・地域体育館・地域図書館を複合する形で位置付けられたこと。平成5年の大谷公民館開館をもって現在の6館体制が整っており、今後も6公民館を拠点施設として地域の生涯学習の充実を図っていくと答弁しました。また、7つ目の●になりますが、郷土芸能の継承についてどのような対策をとっているのかとの質問がありました。今年度から、無形民俗文化財の現状把握や継承に向けた活動を支援するため、無形民俗文化財保存団体後継者育成事業を実施し、地域に伝わる無形民俗文化財の後継者育成について意見交換を行い、情報を共有する取組を行っていることと答弁しました。11ページをお願いいたします。糟谷珠紀議員から「学童保育所の運営と諸課題について」の中で、小学校の余裕教室の状況や、余裕教室を活用する場合、市はどのような条件が必要だと考えているのかとの質問がありました。現在、小学校に余裕教室はないこと。平成30年11月現在で、学校教育の目的で使用しているが、別の用途に転用することが可能な教室のある小学校が17校あること。学校教育の目的以外で活用する場合、児童の安全面を確保できるか、各教室の適正な配置を含めた学校の管理が適正にできるかといった課題の解決が必要となると答弁しました。次に、「図書館サービス計画と運営について」の中で、今年度は、サービス計画をどのように進めていくかなど、具体的な取組項目はあったのかどうかとの質問がありました。第2次上尾市図書館サービス計画は、年度の終わりに当該年度の実施状況の検証を行い、次年度のサービス計画の取組項目、内容について決定することとなっていること。今年度は、分館の施設の長寿化を図るため、瓦葺分館の空調設備改修工事などを行ったほか、活字による読書が困難な人に図書などを対面で読む対面朗読サービスを定着させるため、上尾市図書館音訳者の勉強会を開始するなど新たな取

組を行ったこと。今後は、これらの取組を含め今年度の実施状況を検証しながら、引き続き、進捗管理を行っていくと答弁しました。教育総務部関連は以上でございます。

(今泉達也 学校教育部長) 学校教育部に関係する一般質問でございますが、9名の議員さんから頂きました。答弁要旨の1ページをお願いいたします。始めに、深山議員から「上尾市の英語教育」についてご質問を頂きました。現状については、小学校では新学習指導要領の一部内容を本年度より先行実施し、「聞くこと」「話すこと」を中心に英語に慣れ親しむ活動を展開していること、中学校では「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能をバランスよく育成し、特に「話す能力」の育成については、対話的な言語活動を工夫して指導していることなどについて答弁いたしました。また、教員の指導力向上のために、市教委ではコミュニケーション能力の育成を視点として指導に努めていること、各学校ではより実用的な英語の習得を目指した研修を行っていること、さらに、課題である「教員の英語力や指導力の向上」を図るためにALTを生かした取組を進めていきたい旨の答弁をいたしました。次に、同議員から「食育の現状」についてご質問を頂きました。平成30年度4月の「早寝・早起き・朝ごはん」調査では5年前と比較しても大きな変化は無く、朝食摂取率は総じて高い傾向にあること、また、児童生徒が朝食をしっかりと食べるために各学校では担任と栄養教諭が中心となって望ましい食習慣などを身に付けさせる指導を行うとともに、保護者に対して学校だより等を通じて朝食の重要性を伝えるなどの取組を行っていることと答弁いたしました。次に、2ページをお願いいたします。前島議員から「スクール・サポート・スタッフ」についてご質問を頂きました。文部科学大臣の「緊急対策」は文部科学省が中心となって実施する内容を取りまとめたものであるが、今後県教育委員会の指導・助言を仰ぎ、働き方改革を推進していくこと、配置目的は教員の負担軽減を図ることで、現在、多くの市町が配置を希望しているため、上尾市への配置数は若干名になる旨の答弁をいたしました。また、3ページをお願いいたします。同議員から「学習につまずきのある児童生徒への支援」についてご質問を頂きました。各学校では個に応じたきめ細やかな指導を行うとともに、基礎的な学習内容の定着を図る時間を日課表に位置付けるなどしていること、また、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して学校・家庭・地域が一体となった学習支援の取組を推進することは可能であると考えていること、さらに、「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を利用して、現在「土曜日の教育支援事業」として体験的な教室を実施している一方、学習教室については今後研究していくことと答弁いたしました。さらに、地域での学習支援活動においても社会総掛かりで教育を担っていくことは極めて重要であることから、地域や学校の特色を生かしつつ生涯学習と学校教育との連携をより一層推進していく旨の答弁を教育長がいたしました。次に、田中議員から「外国人労働者について小中学校での対応」についてご質問を頂きました。日本語の理解が難しい児童生徒に対して、日本語指導職員を派遣し、日本語習得のための援助等を行っていること、今後、さらにそのような児童生徒が増加した場合、県教育委員会に加配教員の配置を申請するなどの対応を図る旨の答弁をいたしました。次に、4ページをお願いいたします。長沢議員から、「VRの活用とICT教育との連携」についてご質問を頂きました。VRの臨場感あふれる教材は、直接観察できない宇宙などを可視化したり、英語を使う環境をシミュレートしたりすることができ、効率的で実感的な教育効果をもたらす可能性があるものと認識していると答弁をいたしました。次に、5ページをお願いいたします。秋山議員から「学校給食費」についてご質問を頂きました。上尾市では、食材費のみを保護者の皆様にご負担いただいていることから、多子世帯への学校給食費の軽減は現在考えていないと答弁いたしました。次に、平田議員から「教員の多忙化解消の取組」についてご質問を頂きました。多忙化の主な要因は学校の果たすべき役割が徐々に大きくなっていること、また、これまでの取組によって管理職を含めた教職員の在校時間に対する意識の向上が見られ、それが年休取得日数に表れ始めているこ

と、さらに、ＩＣカード等による在校時間を客観的に把握できるシステムの導入の準備を進めていることなどについて答弁をいたしました。次に、７ページをお願いいたします。海老原議員から「子どもの貧困」についてご質問を頂きました。文部科学省の通知にある「経済的に困難を抱える家庭の児童生徒の支援について、学校や教育委員会と福祉関係機関が緊密な連携を図ること」などは極めて重要であると認識している旨の答弁をいたしました。次に、浦和議員から「国語教育」についてご質問を頂きました。上尾市の児童生徒の強みは「読むこと」、課題は「書くこと」で、この課題を改善するために根拠を明確にして自分の考えを書くなどの学習活動をしている旨の答弁をいたしました。また、正確に読む技術やディスカッションを通した課題解決の仕方、論理的に書き、話すことなどについての指導方法、あるいは９ページでございますが、「基礎学力の向上を目指した取組」などについて答弁をいたしました。そして、日本語が堪能でない子どもには、日本語指導職員が語彙の習得や助詞の使い方などについて指導していると答弁をいたしました。最後に、新藤孝子議員から、「上尾市における児童虐待防止策」について、ご質問を頂きました。各学校では、学級担任などが児童生徒の表情や言動などを注意深く観察したり、地域の民生委員・児童委員さん等と連携したりするなどして虐待の把握に努めていること、また、把握した場合には上尾市子ども支援ネットワークに情報を提供するなど、迅速に対応していると答弁をいたしました。学校教育部は以上でございます。

○報告事項２ 平成３０年度第１回定期監査結果について

（西嶋秋人 教育総務部次長）報告事項２ページ目をお願いいたします。「平成３０年度第１回定期監査結果について」ご報告いたします。地方自治法第１９９条第４項の規定に基づきまして、平成３０年１０月２５日、２９日、３１日に実施され、報告書の提出がありましたので、報告いたします。３ページをお願いいたします。監査の範囲につきましては、４ページ「３ 監査の範囲（１）」にありますとおり、平成３０年４月１日から８月３１日までの財務に関する事務でございます。この結果でございますが、４ページから５ページの「５ 監査の結果」のとおり、教育委員会所管の各小中学校及び各課におきましては「適正」あるいは「おおむね適正」という監査結果でございました。なお、「おおむね適正」というのは、一部書類の不備等の指摘はあるものの、財務事務につきましては適正に執行されているということでございます。以上、報告とさせていただきます。

○報告事項３ 平成３１年成人式について

（小宮山克巳 生涯学習課長）「報告事項３ 平成３１年成人式について」でございます。６ページをご覧ください。平成３１年１月１３日の日曜日に開催し、主にＪＲ高崎線西側の対象者は午前１０時３０分から、東側の対象者は午後零時４５分からの、２回に分けて上尾市文化センターで開催いたしました。内容は、例年と同様にアトラクションと式典の２部構成で、平成１０年４月２日から平成１１年４月１日までに生まれた市内在住の方が対象となりました。入場者数は、合計で１，６７４人、対象者の７２．２パーセントの出席率でした。当日は天候にも恵まれ、教育委員の皆様方には、御来賓として式場に御登壇いただきましたこと、担当課長といたしまして厚く御礼申し上げます。

○報告事項４ 上尾市文化財保護審議会への諮問について

（小宮山克巳 生涯学習課長）続いて、「報告事項４ 上尾市文化財保護審議会への諮問について」でございます。上尾市文化財保護条例第２５条の規定によりまして、下記の文化財を上尾市指定文化財に指定したいので、上尾市文化財保護審議会に諮問するものでございます。対象となる文化財は、瓦葺にございます坂上遺跡からの出土品です。８ページをご覧ください。平成２７年に土器・鉄剣・ガラス玉などが指定されておりまして、今回はその後に出土した資料について追加指定するために諮問

するものです。種別については、有形文化財の考古資料ということになります。実物を壁際に飾ってご紹介します。説明は以上です。

○報告事項5 市制施行・体育協会創立60周年記念 第37回上尾市民駅伝競走大会の開催について

(長谷川浩二 スポーツ振興課長) 報告事項の11ページをお願いいたします。「市制施行・体育協会創立60周年記念 第37回上尾市民駅伝競走大会の開催について」ご説明をいたします。1の主催につきましては、上尾市、上尾市教育委員会、上尾市体育協会、上尾市PTA連合会の4者の共催事業でございます。また、協力といたしまして、上尾市陸上競技協会の協力をいただき開催いたします。期日につきましては、本年度は今年、平成31年2月10日の日曜日に、雨天・小雪決行で行います。なお、積雪や雷雨の恐れがある場合は、参加者の安全を考慮いたしまして中止いたします。また、開会式につきましては、午前8時10分から行います。昨年は8時20分で行いましたが、進行上10分早めました。また、受付につきましては、7時45分から行いますので、教育委員の皆様には、開会式へのご参列をお願いいたします。また、駐車場につきましては、既にご案内といたしまして駐車券を送付させていただいておりますので、そちらをご利用の上、運動公園駐車場をご利用ください。開催場所は、昨年同様、陸上競技場の建物の中が使えません。テントになりますので、ストーブ等をご用意いたしますが、防寒対策につきましては、皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。会場につきましては、上尾運動公園陸上競技場周辺コースで実施いたします。種目及び参加申込み状況ですが、1部から7部まで7種目で、304チーム・2,453人の申込みがございました。また、今年も招待チームといたしまして、福島県本宮市から小学生男子・中学生男子・一般各1チームもこの中に含まれております。先程も申し上げましたが、今大会についても運動公園陸上競技場のトラック及び建物を使用できませんので、昨年同様小学生につきましても一般道路に出て上尾中学校前折り返しのコースとなります。12ページから15ページまでが開催要項となっております、16ページから18ページまでがコース図となっておりますので、ご参照ください。また、最初のスタート時間が8時40分、最終のフィニッシュが14時35分、大会終了を15時10分と予定しております。以上報告いたします。

(今泉達也 学校教育部長) 「報告事項6 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱について」と「報告事項7 平成30年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式について」は伊藤副参事兼学務課長が、「報告事項8 平成30年12月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について」と「報告事項9 上尾市立中学校に係る部活動の方針について」は瀧沢副参事兼指導課長が、それぞれ報告申し上げます。

○報告事項6 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱について

(伊藤潔 学務課長) 報告事項の19ページ、20ページをご覧ください。「報告事項6 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱について」ご報告いたします。このたび、上尾市立小・中学校通学区域検討協議会の1号委員に変更があったため、設置要綱第4条第1項の規定により、後任の委員を委嘱いたします。新たに文教経済常任委員会委員長となりました嶋田一孝議員を、長沢純議員の後任として委嘱いたします。任期は、残任期間の委嘱となります。

○報告事項7 平成30年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式について

(伊藤潔 学務課長) 続きまして、21ページをお開きください。「平成30年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式について」ご報告申し上げます。ご覧のとりの期日で、小学校、中学校の卒業証書授与式、平方幼稚園の修了証書授与式が行われます。なお、告辞文につきましては、後日お一人お一人にお届けいたします。報告は以上でございます。

○報告事項8 平成30年12月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について

(瀧沢葉子 指導課長) 22ページをご覧ください。「報告事項8 平成30年12月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について」でございます。23ページをご覧ください。新規認知は、小学校12件、中学校は7件、解消に向けて、見守りも含めた取組中が小学校56件、中学校32件、解消は小学校1件となっております。学年末に向かいますので、丁寧な見届けと引継ぎを各学校へ働きかけてまいります。

○報告事項9 上尾市立中学校に係る部活動の方針について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、24ページ、「報告事項9 上尾市立中学校に係る部活動の方針について」でございます。別冊資料をご覧ください。これは、平成30年3月にスポーツ庁が示した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」また、同年7月に埼玉県教育委員会が示しました「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」を踏まえまして、同年12月に本市では、文化部活動も含む部活動の方針として策定したものでございます。これを受けて、各中学校では、次年度の4月に「各学校の部活動方針」を策定いたしてまいります。主な内容といたしましては、2ページをご覧ください。学校部活動方針や活動計画の公表、3ページ、事故防止、体罰・ハラスメントの根絶の徹底を図る適切な指導の実施、また、4ページの適切な休養日等の設定、5ページの高温時における部活動の実施などを示しております。本方針をもとに、部活動の教育的意義を認めた上で、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築するとともに、部活動が持続可能な形で実施されることを目指すものとなっております。指導課は以上でございます。

(今泉達也 学校教育部長) 報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。それでは、ただ今説明をいただきました報告につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いいたします。

(大塚崇行 委員) 市議会一般質問に関してです。6ページになりますが、●の上から3つ目、「実労働時間の把握、タイムカードの実施予定」ということで、準備を進めているということではありますが、具体的にいつから始めるのですか。

(伊藤潔 学務課長) 今、契約を進めているところです。予定としては、今年度中に試行を行って、来年度スタートのところで正式に始められればということを進めています。

(大塚崇行 委員) まだ、決定ではないということですか。

(伊藤潔 学務課長) まだ、契約が確実ではないので。できるだけ早めに導入できるように、取り組んでいるところです。

(大塚崇行 委員) はい。わかりました。

(池野和己 教育長) 他にありましたら、お願いいたします。

(小池智司 委員) 「上尾市立中学校に係る部活動の方針」の中の、(2)の「指導・運営に係る体制の構築」のところに「部活動指導員」とあるのですが、「部活動指導員」という方は、どういった方を示しているのか教えていただけたらと思います。

(瀧沢葉子 指導課長) 部活動の技能向上を図るため、外部の方を委嘱いたしまして、市内で43名、部活動の指導を行っていただいている方がいらっしゃいます。いろいろな、多岐にわたる、テニス、バレーボール等、演劇なども含めまして委嘱をしているところでございます。報酬も出て、年間30回以上というような対応をさせていただいております。部活動の充実を図るために配置されている指導員でございます。

(小池智司 委員) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。他にありますか。

(中野住衣 委員) 部活動の方針についてです。5ページの5番の「生徒のニーズを踏まえた環境の整備」の中の「(2)地域との連携等」のアとイですが、たとえば、アでは「地域のスポーツ団体、文化団体等との連携」といっています。イのところでは「学校の施設開放事業や社会教育施設等との連携」とあります。具体的にどういうことを考えているのか、内容がわかれば、教えていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

(瀧沢葉子 指導課長) ここのところは、正直申し上げて、まだ、あまり進んでいないというようなところではあります。ただ、地域との連携という点では、上尾メディックスに中学校の女子バレーボール部への指導をしていただいた、というようなことは始まっております。そういう小さいことではなくて、仕組みづくりというようなことも含んでおりますが、現状では、まだ、これからという状況でございます。

(池野和己 教育長) よろしいですか。

(中野住衣 委員) はい。

(池野和己 教育長) 他にはいかがでしょうか。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。以上で、報告については終了したいと思います。

日程第6 今後の日程報告

(池野和己 教育長) 続きまして、今後の日程報告をお願いいたします。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、2月の日程をご案内させていただきます。教育委員の当面の日程表をご覧ください。まず、先ほど報告事項にもございましたが、10日、日曜日には「市制施行・体育協会創立60周年記念 第37回上尾市民駅伝競走大会」が開催されます。「市制施行60周年記念 第45回上尾市民音楽祭」関係では、16日、土曜日に邦楽祭が、上尾市コミュニティセンターで開催されまして、翌日の17日、日曜日には、吹奏楽・器楽祭が上尾市文化センターで開催されます。20日、水曜日は、教育委員会2月定例会が午前9時30分より教育委員室にて開催予定となっております。日程の最後でございますが、26日、金曜日は、文部科学省におきまして、「第6回市町村教育委員研究協議会」が開催されまして、細野委員さん、小池委員さんをご出席予定です。2月の日程につきましては、以上でございます。

(池野和己 教育長) 日程については、よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) 委員の皆様から、ご意見、ご要望がございましたら、お願いいたします。

～委員全員から「なし」の声～

日程第7 閉会の宣告

(池野和己 教育長) ありがとうございます。以上で予定されておりました本日の日程はすべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会1月定例会を閉会いたします。たいへんお疲れ様でした。

平成31年2月20日 署名委員 細野 宏道